

三重県の職業能力開発に係る事業の実施状況及び方向性について

令和 5 年 11 月 6 日
雇用経済部雇用対策課

(県の政策)

三重県では令和4年10月、これまで進めてきた「みえ県民力ビジョン」に代わり、今後の県政運営にかかる長期構想「強じんな美し国ビジョンみえ」を策定するとともに、令和8年度までの中期計画を「みえ元気プラン」にまとめました。

三重県が実施する職業能力開発に関する事業は、この「みえ元気プラン」に基づいて進めることとしています。政策体系としては、「政策8 人材の育成・確保」として行うことを基本としながら、取組の性質によっては、対象者の属性に応じた政策に含めることとしています。

(主な政策における各事業の実施状況と次年度に向けた取組方向)

政策8 人材の育成・確保

■ 令和5年度の取組状況

(1) 職業訓練

- ・ 津高等技術学校において、産業界のニーズをふまえた職業訓練を実施するとともに、労働者の技術向上を図るため、在職者訓練を実施しています。
- ・ 離転職者等を対象に、県内の専修学校等の民間教育訓練機関に委託して、デジタル、パソコン事務、介護等の分野に関する職業訓練を実施しています。

(2) 技能振興

- ・ 労働者の技能と地位の向上を図り、産業の発展に寄与するため、職業能力開発促進法に基づく技能検定を実施しています。
- ・ 技能士に対して、優秀技能者の表彰を行っています。また、熟練技能士によるスキルアップ講習を行っています。
- ・ 技術系高校において、企業の協力のもと実習を実施しています。また、子どもたちのものづくりへの関心を高める体験講座を実施しています。

(3) 多様な人材の能力発揮支援

- ・ 就職氷河期世代含む若年無業者等を対象として、就労前スキルアップ訓練や就労体験を通じた人材育成を実施しています。
- ・ 正規雇用や再就職を希望する女性に向けて、一人ひとりのニーズに応じて、web制作に係る基礎講習などのスキルアップ研修等を e ラーニングにより行うとともに、女性専用相談窓口において多様な事情を抱える女性の就職相談に対応しています。

・ ステップアップカフェ「だいたい食堂」において、障がい者の実践的な就労体験を行っています。令和6年 12 月で開設から 10 年が経過することから、これまでの成果と課題を検証し、今後も同形態で運営を続けることが適当か検討を進めています。

■ 令和6年度に向けた取組方向

(人材の育成・確保支援)

・ IoTやロボット技術など成長・基幹産業に対応する人材や、生産性向上、競争力の強化を図る企業ニーズに対応する人材を育成するため、若者の職業能力の開発に取り組めます。

・ 成長が見込まれるIT分野や求人ニーズが高いものづくり分野への就労を目指した職業訓練など、地域産業の担い手となる人材を育成するとともに、技能検定等の円滑な実施や、民間の職業能力開発校への支援等を行うことにより、企業や労働者のスキル・キャリアアップの機会を確保します。

・ 県内産業の担い手となる人材を育成するため、津高等技術学校における学卒者等を対象とした訓練課程を見直し、ICTエンジニア科など新たな訓練科を設置するとともに、ガス溶接などの在職者訓練や離転職者を対象としたデジタル、パソコン事務、介護等の委託訓練を実施していきます。

(多様な人材の就労支援)

・ 多様な人材が能力を発揮できるような職業能力開発の取組が必要です。特に、正規雇用など安定就労をめざす求職者が、一人ひとりの希望にあった形で就労できるように支援します。

・ 個々の適性や能力に応じたスキルアップの取組を、様々な就労支援の取組と併せて行います。

政策 14 教育（職業能力開発関連部分）

■ 令和5年度 of 取組状況

(1) 県立学校におけるキャリア教育

・ すべての高等学校において、キャリア教育の各取組を体系的にまとめたキャリア教育全体計画を策定し、高校生が働くことの意義を理解し、社会的・職業的自立に必要な資質を身につけられるよう、発達段階に応じたキャリア教育を進めています。地域の職業人を招へいた出前授業、企業でのインターンシップやデュアルシステムなど、実社会とつながった学びを進めています。

・ 「グローバルリーダー育成プログラム」や「未来のスペシャリスト育成プログラム」の研究・開発に取り組むとともに、各校では生徒の実態等をふまえ、STEAM(※1)学習や課題解決型学習等に取り組んでいます。これらの学習では、創造力や表現力、協働する力などの資質・能力の変容を把握する取組を進めています。

- ・ 企業や大学の協力を得て、これまで実施してきたMaaS(※2)や地域の第一次産業を題材にした探究学習に加え、STEAMプログラムを活用して、より発展した探究活動に取り組んでいます。
- ・ 特別支援学校において、清掃技能検定、看護・介助業務補助技能検定など、企業、関係機関等と連携した技能検定を実施しています。
- ・ 特別支援学校高等部生徒の進路希望の実現と、地域生活への円滑な移行をめざして、計画的・組織的なキャリア教育と職場開拓を進めています。テレワーク支援員を配置し、ICTを活用した在宅就労など、新しい働き方や技能に対応した就労先の開拓や就職支援を進めています。

■ 令和6年度に向けた取組方向

- ・ 子どもたちが学ぶことと自己とのつながりを見通しながら学び、進路を決定する力や人間関係を築く力を育むとともに、地域と連携し、魅力ある仕事への理解を深めることができるよう、組織的・計画的なキャリア教育を進めます。職業ポータルサイトを活用した職業研究など、地域の企業を題材としたキャリア教育を進めます。
- ・ 主体的に考え行動する力や他者と協働する力を育むため、身近な地域や世界規模の課題の解決に向け深く考察し行動する探究活動や、多様な考えを持つ仲間との学びや教科横断的な学びを行うSTEAM教育、地域の産業や特色を題材にした地域課題解決型学習を推進するとともに、取組の前後で資質・能力がどのように変化したかを把握し、取組の改善につなげます。
- ・ 職業学科を有する学校において産業界が求めるDX人材を育成するため、先進的にDXに取り組む企業や団体等との連携により、プログラミングやAI、ARなどデジタル技術を活用し、実社会の課題解決につながる学習プログラムを開発します。
- ・ 特別支援学校高等部生徒の進路希望を実現し、地域生活へ円滑に移行できるよう、計画的・組織的なキャリア教育と職場開拓を進めます。ICTを活用した在宅就労など、新しい働き方や技能に対応した就労先の開拓や就職支援を進めるため、引き続きテレワーク支援員を配置します。

※1 科学(Science)、技術(Technology)、工学(Engineering)、リベラルアーツ・教養(Art)、数学(Mathematics)等の学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育。

※2 Mobility as a Service の略。移動ニーズに対応して複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせ、検索・予約・決済等を一括で行うサービス。

・参考資料 令和5年度三重県職業能力開発関係事業一覧表

参考：政策8「人材の育成・確保」にかかる主なデータ

三重県立津高等技術学校 職業訓練

○ 普通課程・短期課程 入校者／定員 (令和5年9月末時点)

	科 名	入校者／定員 (人)	定員充足 率	訓練期間
普通課程 (学卒者対象)	機械制御システム科	12/40	65.7%	2年間
	電子制御情報科	29/30		
	自動車技術科	40/40		
	メタルクラフト科	11/30		
	小計	92/140		
短期課程 (離転職者対象)	ホームコーデ科 前期①	2/10	64.5%	4か月
	ホームコーデ科 前期②	1/10		4か月
	住宅サービス科 前期	5/10		5か月
	パソコンCAD科 前期	10/10		6か月
	オフィスビジネス科 前期	15/15		6か月
	金属成形科(外国人対象) 前期	10/10		6か月
	マルチスキルワーク科 前期	4/8		5か月
	OA事務科(障がい者対象) 前期	3/10		6か月
	アーキデザイン科	10/10		1年間
	小計	60/93 ※		
	ホームコーデ科 後期	定員 10名	10月以降 開講	4か月
	住宅サービス科 後期	定員 10名		5か月
	パソコンCAD科 後期	定員 10名		6か月
	オフィスビジネス科 後期	定員 15名		6か月
	金属成形科(外国人対象) 後期	定員 10名		6か月
	マルチスキルワーク科 後期	定員 8名		5か月
	OA事務科(障がい者対象) 後期	定員 10名		6か月
合計	152/233	65.2%		

※受託者を除く(受託者:10名)

○普通課程 修了者と就職率の推移

科 名	H30	R1	R2	R3	R4
機械制御システム科	11人 100%	8人 100%	8人 100%	11人 100%	10人 100%
電子制御情報科	6人 100%	6人 100%	6人 100%	6人 66.7%	10人 100%
自動車技術科	14人 100%	16人 100%	18人 100%	19人 100%	17人 100%
メタルクラフト科	14人 100%	7人 100%	5人 80.0%	8人 100%	3人 100%

○短期課程(現在実施している科のみ) 修了者と就職率の推移(受託者は除く)

科 名	H30	R1	R2	R3	R4
ホームコーデ科	—	—	—	26人 59.3%	10人 50.0%
住宅サービス科	9人 66.7%	5人 80.0%	10人 60%	9人 77.8%	17人 集計中
パソコンCAD科	19人 55.0%	14人 35.7%	18人 63.2%	16人 64.7%	17人 70.6%
オフィスビジネス科	27人 65.5%	24人 81.5%	25人 81.5%	27人 86.7%	23人 64.0%
金属成形科(外国人対象)	13人 78.6%	13人 76.9%	17人 66.7%	7人 57.1%	9人 77.8%
マルチスキルワーク科	—	—	—	—	1人 100%
OA事務科(障がい者対象)	1人 100%	4人 80.0%	4人 50.0%	4人 25.0%	3人 75.0%

○委託訓練 入校者/定員 (長期以外は令和5年9月末までに開講したコースのみ)

	科 名・分野	入校者/定員(人)	定員充足率	訓練期間
長期 高度 人材 育成 コース	介護福祉士養成科	36/52	90.2%	2年間
	保育士養成科	29/37		
	栄養士養成科	10/10		
	製菓衛生師養成科	3/3		
	小計	92/102		

知識等習得コース	パソコン事務分野	156/190	76.9%	3か月
	医療事務分野	25/30		
	介護分野	19/45		
	デジタル分野	50/60		
	小計	250/325		
	パソコン事務分野	定員 200 名	10月以降 開講	3か月
	医療事務分野	定員 45 名		
	介護分野	定員 45 名		
	デジタル分野	定員 45 名		
定住外国人向け職業訓練コース(9月末まで)	1/10	10%	4か月	
定住外国人向け職業訓練コース(10月以降)	定員 10名	—		
合計		152/233	65.2%	

○委託訓練 修了者と就職率の推移

	科名・分野	H30	R1	R2	R3	R4
長期高度人材育成コース	介護福祉士養成科	17人 100%	18人 94.7%	12人 100%	16人 87.5%	13人 100%
	保育士養成科	—	3人 100%	5人 80%	10人 90.0%	8人 87.5%
	栄養士養成科	—	—	5人 80%	5人 100%	3人 100%
知識等習得コース	パソコン事務分野	298人 71.1%	293人 74.7%	269人 73.1%	243人 78.7%	270人 72.7%
	医療事務分野	72人 78.1%	66人 75.4%	61人 75.3%	60人 86.7%	46人 77.1%
	介護分野	101人 88.1%	80人 97.5%	103人 94.1%	76人 90.9%	61人 95.1%
	その他分野	27人 58.6%	33人 54.3%	39人 69.0%	55人 58.2%	53人 53.7%
定住外国人向け 職業訓練コース		—	—	—	4人 80.0%	6人 50.0%

・障がい者の多様なニーズに応じて、地域の事業所等でも職業訓練を行っています。

	受講者数	就職率
障がい者委託訓練(R4)	50名	84.1%

技能検定試験

○技能検定試験の受検者数の推移

		H30	R1	R2※	R3	R4	R5 (見込)
定期 試験	特級	345	292	194	224	209	160
	1級	1,092	854	201	544	437	415
	2級	1,062	1,022	215	863	609	645
	3級	537	544	250	425	321	350
	単一等級	9	8	0	12	7	5
定期試験合計		3,045	2,720	860	2,068	1,583	1,575
随時 試験	随時2級	—	—	—	32	85	200
	随時3級	894	1,979	2,542	3,249	1,454	700
	基礎級	2,425	3,135	2,479	1,131	1,834	2,300
随時試験合計		3,319	5,114	5,021	4,412	3,373	3,200
定期+随時合計		6,364	7,834	5,881	6,488	4,956	4,775

※令和2年度については新型コロナの影響で前期試験が中止されています。

○外国人技能実習生向け技能検定試験の公示状況

試験級	職種・作業数	受検見込数(R5)
随時2級	19 職種 22 作業	200人
随時3級	51 職種 76 作業	700人
基礎級	53 職種 86 作業	2,300人